

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2003年2月3日～ 2003年3月31日分)

### 総務省、2月末のインターネット 利用者数を発表

総務省は、2003年2月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが202.8万人、DSLが6,589,867人、FTTHが263,144人となっている。

CATV インターネットの加入者が初めて200万を越えてはいるものの、月の増加数は3万6千で、FTTHの増加数に迫られている。(3/31)

### デジオンとモンタビスタ、デジタル 家電向けソリューションで提携

モンタビスタソフトウェアジャパンとデジオンは、マルチメディア・ホームネットワーク分野でのデジタル家電機器向けソリューションに関して業務提携し、両社によるデジタル家電向けのホームネットワーク・ソリューションを提供すると発表した。

デジオンは、開発中のマルチメディア・ホームネットワーク・ソリューション「DiXiM」のLinux用ミドルウェアを、モンタビスタソフトウェアの「MontaVista Linux」上で動作するよう対応する。

「DiXiM」は、ホームネットワーク上にある機器のコンテンツをシームレスに楽しめるようにするミドルウェア技術。ホームネットワーク上にあるPCやデジタル家電に対し、ストレージマネージメント機能、ライブラリマネージメント機能、コンテンツ配信機能、プラグアンドプレイ機能などを提供する。

「MontaVista Linux」は、既に日本を始めとする世界の多数の大手家電メーカーへの導入実績のあるデジタル家電において注目されているOSのひとつ。

両社は、双方の強みを生かし、PCとデジ

タル家電機器をつなぐソリューションとして顧客に提案していくとしている。

(3/31)

### NTT Com、小額決済用プリペイド型電子マネー「Pちょコム」を開始

NTTコミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、インターネット上で使えるプリペイド型電子マネー「ちょコム」の新メニューとして小額決済用の「Pちょコム」を追加し、2003年4月1日より提供を開始すると発表した。

「Pちょコム」は、2001年11月より開始しているICカードを用いた認証・決済プラットフォーム「セーフティパス」会員向けの決済サービスとして提供されている電子マネー「ちょコム」に追加された、ネット上の簡易な手続きによる、ICカードを使わない小額決済用の新メニュー。

ユーザーは、「セーフティパス」に加入していなくても「セーフティパス」の会員と同じように既存の「セーフティパス」の1,200以上のショップ&サービスを利用することができる。

1回の入金(チャージ)、支払いの限度額は5万円まで。チャージは、クレジットカード、インターネット銀行、および郵便振替(近日対応予定)から行なう。

年会費は無料だが、「Pちょコム」貯金箱開設料として300円が必要。なお、2003年4月1日～27日までの期間中に申し込みをしたユーザーを対象に「Pちょコム」貯金箱開設料300円相当を「Pちょコム」でプレゼントする無料キャンペーンを実施する。

(3/31)

### KDDI、2GHz帯データ通信の試験サービスを発表

KDDIは、2GHz帯において、最大2.4Mbpsの伝送速度を実現する高速データ専用無線方式(CDMA2000 1xEV-DO方式)の試験サービスを2003年4月30日から東京都内の一部エリアで開始すると発表した。

サービス期間は2003年4月30日～2003年10月、サービスエリアは東京15区(千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・渋谷区・品川区・目黒区・豊島区・中野区・板橋区・北区・荒川区・墨田区)の内、環状7号線の内側で隅田川以西の地域を予定している。

試験モニターは個人ユーザーを対象に500名を募集する。モニターに貸与される専用機器「DO-BOX(ディーオー・ボックス・京セラ製)」は、Windows XP/2000Proを搭載したパソコンとUSBケーブルで接続してデータ通信を行ない、電源はAC100Vが必要となる。

モニターには、auの契約事務手数料や月額料金、通信料、インターネット接続のためのDION接続料などはかからず、すべて無料となる。なお、専用機器の発売予定はなく、モニターは試験サービス終了時に返却する必要がある。

(3/28)

### ペンタックス、音声コンテンツ配信事業「Globalvoice」発表

ペンタックスは、外国語学習、雑誌などの各種音声コンテンツをインターネットで配信する「Globalvoice(グローバルボイス)」を新たに開発し、2003年5月下旬から本格的な事業展開を開始すると発表した。

「Globalvoice」は、語学スクール、出版社、通信社などのコンテンツ保有者からデジタルデータ化した音声コンテンツの提供を受け、そのコンテンツを3トラック方式に圧縮変換して専用サーバーに蓄積し、ユーザーがインターネット経由で好みのコンテンツをプレーヤーにダウンロードし再生利用するもの。

このサービスに対応したMP3プレーヤー「PENTAX Languagear PM-LM02」も新たに開発。<ネイティブスピードの発音>、聞き取りやすいようにネイティブスピーカーがゆっくり発音した<スローな発音>および<日本語>の切り換え再生がワンタッチで簡単にできる3トラック方式に対応している。

当初は、語学スクールを展開するNOVAが

出版している語学書籍シリーズ [NOVA BOOKS] を 3トラック方式に音声変換したコンテンツを配信。さらに語学・ビジネススキル・資格試験などの学習、新聞・雑誌などの記事等へと今後コンテンツの幅を広げていく計画としている。

なお、事業開始に先立ち、NOVAの協力のもと、2003年4月上旬からNOVAグループ発行の通販誌「NOVA@TEL」を通じてテストマーケティングを実施する。

(3/27)

## J-COM Net 下り 30Mbps のトライアルサービスを開始

ジュビターテレコム (J-COM Broadband) は、J-COM Broadband 東京のサービスエリアの一部地域で、下り 30Mbps 仕様のケーブルモデムシステムを利用した高速インターネット接続のトライアルサービスを実施すると発表した。

トライアルサービスでは、ケーブルモデムの規格である DOCSIS (Data Over Cable Service Interface Specification) 2.0 に準拠した機器を使い、下り最大 30Mbps、上り 2Mbps の通信速度でインターネットに接続する技術検証を行なう。

トライアルの対象は練馬区の一部地域、モニター数は 500 としている。

J-COM Broadband では、このトライアルサービスの結果を踏まえ、より快適な、高速インターネット接続サービスの商用化を目指す予定としている。

(3/24)

## SONICblue、破産申請 Rio など事業売却へ

米 SONICblue は 2003 年 3 月 21 日、米破産法 11 条の適用をカリフォルニア州サンノゼの破産法廷に申請したと発表した。

デジタルビデオレコーダ「ReplayTV」及びオーディオプレーヤー「Rio」に関連する事業については、これまでに、ディーアンドエムホールディングスおよびその子会社である日

本マランツとの間で 4000 万ドルで売却する非拘束の同意書を交わしている。

また、GoVideo 事業は元 SONICblue 営業副責任者が副社長を勤める Opta Systems に 1250 万ドルで売却する確定合意を取り付けている。

これら事業売却には破産法廷の同意が必要であり、同社では 4 月までに売却を完了する計画。

(3/22)

## 松下電器、「HighMAT」対応 AV 機器を発売

パナソニックマーケティング本部は、世界で初めてパソコンと A/V 機器間での音楽 (MP3/WMA) ・写真 (JPEG) デジタルデータの保管・再生・検索システムである HighMAT (High performance Media Access Technology ハイマツト) を搭載した民生用 AV 機器 3 機種を 2003 年 4 月 20 日より順次発売すると発表した。

発売するのは MD ステレオシステム「SC-PM77MD」、DVD/CD プレーヤー「DVD-S75」「DVD-S35」。いずれもオープン価格。

HighMAT 対応 AV 機器では、HighMAT 搭載のパソコンで記録された JPEG、MP3、WMA 等の数百曲のデータを簡単に検索し、再生することができる。

従来、楽曲の選曲は、ファイル名を検索キーとしていたが、HighMAT 対応製品では、タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名などのさまざまな項目により、選曲が可能となる。また、デジタルカメラで撮影した JPEG 画像はイベント名などでも選択できるなど利便性が向上している。

対応 PC アプリケーションソフトは、マイクロソフト社から「Windows Media 9 シリーズ」他、製品の発売までに順次サポートが開始される予定。また、BHA、アプリックス他から HighMAT をサポートするソフトウェア製品がリリース予定となっている。

(3/20)

## メディアクリック、FM 多重放送を利用した情報配信サービスを開始

メディアクリックは、エフエム東京、ジャパン エフエム ネットワーク、メロディーズ アンド メモリーズ グローバルと共同で FM 多重放送を利用した情報配信サービス「クリックラジオ」を今春よりスタートすると発表した。

「クリックラジオ」サービスは FM 放送を聴いていて「この音楽いいな!」と思ったときに、専用オーディオ機器の記録ボタンを押すと、その楽曲情報を記録することができ、その楽曲情報をキーとして、インターネットにてメディアクリックのサイトにアクセスすると、その楽曲が収録されている CD や音楽配信サイトからダウンロードにて商品が購入できるサービス。

楽曲情報は、メロディーズアンドメモリーズグローバルのメロディーズ&メモリーズデータベースを使用している。

サービス開始に合わせて、専用オーディオ機器 第一号として、富士通テンから ECLIPSE (イクリプス) のカーオーディオ「E7703AVX」が、2003 年 5 月 1 日より発売される。

(3/18)

## DNP、オーディオ用可逆圧縮コーデック「ゲンコーダ」を開発

大日本印刷 (DNP) は、経済産業省の支援を受け、Windows パソコン上で動作する、音楽データ用圧縮伸張ソフト『ゲンコーダ』を開発したと発表した。独自開発したロスレス型圧縮技術を採用しており、圧縮後のデータを完全に元データに戻すことが出来る。

現状開示されているソフトウェアは、使い勝手などを含め、音楽ソフトの制作現場で求められる性能には達しておらず、ゲンコーダは、音楽ソフトウェアの製作現場での実用に耐える、初めてのロスレス型音楽データ用圧縮伸張ソフトとしている。

ロスレス型圧縮アルゴリズムとしては、現

在、規格化に提案されているほぼ全てのソフトウェアにおいて、その骨格は同一であり、ゲンコーダを含め、圧縮率に顕著な差はないが、ゲンコーダの圧縮率は、30~70%で、クラシック音楽では平均 50%の圧縮率が得られ、現在存在するロスレス型圧縮方式の中でもトップクラスの圧縮率を有している。

DNP では、ゲンコーダを音楽ソフトの制作過程における効率化やコストダウンを提供するもの、また、ブロードバンドの普及にあわせ、高品質音楽ソフトをネットワークを経由して配布、販売する手段としても有効としている。

また、音楽データをゲンコーダ方式でリアルタイムに圧縮伸張しながら記録再生する専用チップの開発、これを実装した機能モジュール開発、あるいは、チップ回路を使用する権利を与える IP ビジネスなども計画している。

(3/17)

## サンディスク、世界最小「miniSDカード」を発表

サンディスクコーポレーションは、高容量のメモリを必要とする次世代携帯電話市場に向けた世界最小のメモリーカード「SanDisk miniSD™カード」を発表した。

miniSD™カードは、従来の SD カードとの互換性を持つ超小型のフォームファクタとして、SD アソシエーションによって共同開発され、先頃採用された新規規格のメモリーカード。

大きさは、幅 20.0mm、奥行き 21.5mm、厚さ 1.4mm の親指サイズほどの正方形で、表面積は 430 平方 mm、体積は 602 立法 mm。従来の SD カードに比べ、表面積で 40%以上、体積で 60%以上の小型化を実現、これまでに発表されたメモリーカードでは世界最小サイズとなる。

新規規格は、コンテンツ保護 (CPRM) によるセキュリティ機能など、従来の SD カードと同様のインターフェースを使用しており、ソフトウェアや電子的に互換性を持つ。

サンディスクでは、2003 年 3 月より OEM

顧客への 16MB タイプの出荷を開始予定。同第 2 四半期より、日本での 32MB、64MB タイプのリテール販売を開始、同下半期には全世界での販売を計画する。128MB と 256MB のタイプについても、今年下半期の出荷を予定している。

リテール販売では、既存の SD カードスロットにも対応するため、カードアダプタとのセットでの販売を予定しており、価格は 32MB タイプのカードアダプタを含んだ価格で従来の SD カードとほぼ同じに設定される予定。

(3/14)

## 東芝、2GbitNAND 型フラッシュメモリを商品化

東芝は、130nm の微細加工技術を採用し、業界最大となる 2Gbit の大容量を実現した NAND 型フラッシュメモリを開発したと発表した。

最先端 0.13 ミクロンの微細加工技術を採用し、チップサイズを縮小でき、0.16 ミクロン技術を採用した 1Gbit の製品と同じパッケージサイズで 2Gbit の大容量を実現した。

デジタルスチルカメラや携帯情報端末、また半導体メモリを使用したオーディオ製品等のデータ蓄積用に需要に応える。

メモリーカード用に適した TSOP パッケージの製品「TC58DVG14B1FT00」のサンプル出荷を即日開始し、サンプル価格は 7,000 円。2003 年 6 月から量産開始予定。

さらに、2Gbit のチップを 2 個積層した 4Gbit の TSOP パッケージの製品も商品化し、2003 年 4 月からサンプル出荷を開始する予定。こちらの価格は 14,000 円。

なお、東芝は 1999 年 7 月に米 SanDisk と NAND 型フラッシュメモリの共同開発について包括的提携を結んでおり、新製品はその一環として開発されたもの。量産は両社出資の製造合弁会社フラッシュビジョン (東芝四日市工場内) にて行われる。

(3/14)

## Creative、Media2Go 採用製品を開発

米 Microsoft は、Creative Technology がデジタル・メディア用プラットフォーム「Media2Go (開発コード名)」を搭載したポータブル・メディア・プレーヤを開発すると発表した。

Media2Go は、Microsoft と Intel が共同開発したデジタル・メディア用プラットフォーム。最初のハードウェアリファレンスデザインは、Intel の XScale マイクロアーキテクチャと Microsoft の Windows CE .NET をベースにしている。

Creative Technology 社が開発する Media2Go 採用のポータブル・メディア・プレーヤは、2003 年下半期にリリース予定。

オーディオファイルで 8000 以上、動画ファイルで 175 時間分、静止画なら最大 3 万点を保存できる容量を備え、1 回の充電で最大 6 時間のビデオ再生、または最大 12 時間の音楽再生ができるものとなっている。

(3/14)

## CRL、600Mbps を超える FWA システムを試作

独立行政法人通信総合研究所 (CRL) は、38GHz 帯を使用し、622Mbps の速度で伝送を行う、ポイント・トゥ・ポイント (1 対向) 方式の広帯域ミリ波加入者系無線アクセスシステム (Fixed wireless access: FWA) を実現したと発表した。

今回試作した 38GHz 帯ポイント・トゥ・ポイント方式 FWA システムは、変調方式に 64QAM 及び 128QAM という伝送効率のよい方式を採用。

これに変調信号を 4 つ並列におくる 4 マルチキャリア化によって 622Mbps の伝送を実現した。

今回試作された FWA システムは、光ファイバに匹敵するような一般家庭への高速アクセスを実現するものとして期待され、今後同システムを用いた長期実環境通信実験を行い、普及に向けたシステムの特性を検討する

予定としている。

(3/12)

## ビーマップ、無線 LAN 向けコンテンツ配信システムに DRM 統合

ビーマップは、コンテンツ配信の著作権保護システム分野で、韓国に本社を持つシールトロニック・テクノロジーと業務提携したと発表した。

ビーマップの無線 LAN 向けコンテンツ配信システム「AirCompass」に、シールトロニックの電子透かし技術や暗号化技術を組み合わせた製品を開発する。

AirCompass は、NTT ブロードバンドプラットフォームが鉄道会社と共に運営しているホットスポットサービス「無線 LAN 倶楽部」で導入されている。

今回の提携により、著作権保護が求められる音楽や映像のコンテンツ配信にも対応できるようにするとしている。

また、シールトロニックでも、自社の著作権保護ソリューションと AirCompass を連携した製品を韓国のホットスポットなどに向け販売していく。

(3/12)

## ソニーなど、AV 機器向け CD/DVD 記録規格「MPV」を推進

Eastman Kodak Company、Hewlett-Packard Company、LG 電子、オリンパス光学工業、Royal Philips Electronics、サムスン電子、ソニーの 7 社は、CD・DVD などに収録された音楽、画像、ビデオなどのコンテンツを個人的に楽しむための業界標準規格「MPV (MusicPhotoVideo)」の採用に賛同し推進すると発表した。

MPV は光ストレージの標準化団体である Optical Storage Technology Association (OSTA) で開発されたオープンな業界標準規格。

MPV の規定する制御ファイルは、MPV 準

拠の機器がマルチメディアコンテンツに迅速にアクセスできるよう、ディスクやフラッシュメモリカードなどに記録されたコンテンツリストを出力する。プレイリストやマルチメディアコンテンツの追加・編集は CD や DVD 全体を焼き直すことなく簡単に行えるようになる。

メーカーは新製品に小容量コードを追加することで MPV ファイルの読み込みが可能となる。MPV に準拠するデータ CD や DVD は、メディア再生機能を持つ既存の CD プレーヤー・DVD プレーヤーでも再生可能。MPV はまた、現在 CD で利用されている ISO9660-1 や Joliet ファイルシステムとも互換性を持ち、マルチセッション CD をサポートする。

7 社のうち数社が 2003 年後半に MPV 準拠製品の出荷を開始する予定。またマルチメディア制作アプリケーションでも、ACD Systems の『ACDSee』、Ahead Software の『Nero』、アークソフットの『PhotoBase』、HP の『HP Memories Disc Creator』、ロキシオの『Easy CD & DVD Creator』、ソニック・ソリューションズの『MyDVD』および『RecordNow MAX』などが MPV 準拠製品となる予定。

(3/12)

## 2 月末の DSL 加入者数は 660 万弱

総務省から 2003 年 2 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 6,589,867 で、これは前月末の 7.7% 増。増加率は前月から 0.7% のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 2,405,981。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 4,183,886 で、NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 36.5% と前月から 0.4% のマイナス。

NIT 西日本のフレッツ ADSL 加入者が初めて 100 万を越えた。

(3/11)

## 有線ブロード、取り付け数が 47,000 回線を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2003 年 2 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が 77,709 件、回線が開通している取り付け数が 47,804 件となった。

これらの数字を 2003 年 1 月末時点のもの比べると、契約者数で約 7,800 件、取り付け数で 6,300 件を越える増加となっている。

特に集合住宅の取り付け数で前月比 5,000 増となる 40,940 と大幅な伸びを見せている。

(3/10)

## ドコモ、定額制 PHS データ通信サービスを発表

NTT ドコモおよび NTT ドコモグループ 8 社は、PHS サービスにおいて、対応アクセスポイントへのデータ通信が定額料金で利用できるサービス「@FreeD」(呼称:アットフリード)の提供を 2003 年 4 月 1 日より開始することについて、総務大臣に届出を行ったと発表した。

「@FreeD」は、64kbps または 32kbps 回線交換方式による PHS データ通信サービス。無線通信部分にはドーマント方式が使われており、通信中に一定時間データ通信がない場合や電波状態が悪いときにダイヤルアップ接続を保ったまま無線回線を一時的に休止する。

ドーマント方式は情報の送受信が行われないうちは電波を発信しないため、PC や PDA のバッテリー消費が抑えられ、ファイルのダウンロード中に無線回線が切断しても、自動的に再接続されたあとには切断された時点からダウンロードを再開できるなどのメリットがある。

料金コースは、月額 4,880 円の「定額月払プラン」と、年額 48,000 円の一括前払い「定額年払プラン」の 2 コース。

「@FreeD」対応予定のプロバイダーは、@nifty、BIGLOBE、OCN、So-net、Panasonic、hi-ho、ぶらら、ライブドア、ZERO、ドリーム・トレインインターネット(DTI)、ASAHI ネット、デオデオエンジョイネット、SANNET、リムネット、ReSET.JP、アルファインターネット、interQ、MEMBERS、BBplusの17社。

サービス開始にあたり、ドコモは「@FreeD」対応のデータ通信カード「P-in Free 1P」「P-in Free 1S」を販売する。これまで販売されていたドコモのデータ通信カードは「@FreeD」サービスでは利用できない。

端末の対応 OS は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000 Professional/Windows XP、Windows CE。

(3/7)

## 日本テレコム、5GHz 帯ノマディック無線システムの実証実験を開始

日本テレコムは、関東総合通信局から5GHz 帯(5.030~5.091GHz)の周波数を使用した実験用無線局の予備免許を取得したと発表した。

実験は、公衆無線 LAN によるネット接続サービスのほか、FWA(加入者系無線アクセス)や携帯電話などと組み合わせた屋外サービスの評価やデータ解析などを1年間にわたって実施する。

通信プロトコルは IEEE 802.11a を採用する。無線 LAN 機器で東洋通信機が協力し、技術サポートを行う。

SI 事業者や地方自治体、デュアルモード端末の技術検討を共同で行う通信事業者・通信機器メーカーの参加も呼び掛け、実験後はデータを解析した上で、商用化に向けたビジネスモデルを構築するとしている。

(3/3)

## シャープ、3 規格無線 LAN 対応パワーアンプを発表

シャープは、業界で初めて、3つの無線 LAN

規格(IEEE802.11a/b/g)に対応可能な高利得の2.4GHz/5GHzデュアルバンドパワーアンプを開発したと発表した。

このパワーアンプは、業界で初めて、3つの無線 LAN 規格に対応した高利得パワーアンプであるうえ、従来2個使いであったパワーアンプを1パッケージ化することに成功。実装面積を半分に削減でき、切手大の小型カードや PDA、IP フォンなどのモバイル機器への組み込みが容易となる。

また、従来品のパワーアンプに比べ、半分以下の低い入力レベルでも動作可能なため、外付け部品(ブリアンプ)を追加しなくても、ほとんどの無線 LAN チップセットに直接接続することが可能となる。

2003年3月からサンプル出荷、2003年6月から量産出荷を開始予定。サンプル価格は750円。

(3/1)

## 総務省、1 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2003年1月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが199.2万人、DSL が6,119,883人、FTTH が233,072人となっている。

DSL の加入者は初めて600万を越えた。

(2/28)

## RIAJ、DVD プレーヤー対応音楽パッケージ「DVD music」を制定

社団法人日本レコード協会は、DVD ビデオ規格を用いた音楽ソフトパッケージ「DVD music」の仕様とマーケティングロゴを制定したと発表した。

DVD music は、DVD ビデオ規格のオーディオ部分を利用した、DVD プレーヤーで再生できる音楽パッケージ。レコード協会では、会員のレコード会社の参考となるよう、再生

や操作性の共通化やロゴなどの運用基準を策定した。

量子化 bit 数は24bitまで、リニア PCM 形式などのオーディオデータを収録可能。また、ジャケット写真や、アーティスト写真、風景写真などが収録でき、テレビに静止画を表示しながら、音楽を楽しむことができる。

第1弾として、コロムビアミュージックエンタテインメントが、4タイトルを発表、3月21日より発売する。

(2/28)

## 相模鉄道、無線 LAN サービスを再開

相模鉄道とエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(NTT-BP)は、2003年3月1日(土)から、無線 LAN インターネットアクセストライアル「相鉄ワイヤレスインターネット powered by 無線 LAN 倶楽部」を開始すると発表した。

サービス提供エリアは、相模鉄道の横浜駅、湘南台駅、大和駅、緑園都市駅、「オリーブの木」湘南台西口駅前店、横浜市瀬谷区の三ツ境ライフで、無線 LAN 倶楽部のサービスエリアのうち、京浜急行電鉄の横浜駅、京王電鉄の新宿駅も利用できる。

また、無線 LAN 倶楽部のユーザーは本トライアルのアクセスポイントを設定変更することなく利用可能。3月中旬には相模鉄道の二俣川駅でもサービス開始予定であり、無線 LAN 倶楽部を含む公衆無線 LAN サービスとのアクセスポイント乗り入れも検討している。

トライアル期間は3月1日から6月30日までを予定、対象ユーザーは相鉄ワイヤレスインターネットに既に登録していたユーザーおよび横浜ケーブルビジョンが提供するインターネット接続サービスのユーザー。

なお、相模鉄道は以前の試験サービス時には NTT-ME の無線 LAN 試験サービス「ネオモバイル」とアクセスポイント相互乗り入れを行っていたが、NTT 東日本グループが鉄道事業者との無線 LAN インターネット接続事業化を NTT-BP に一元化する方針を検討し

ていることから、共同事業化に向けて新たな枠組みでトライアルを再開としている。  
(2/28)

## AOL、有料音楽配信サービス「MusicNet on AOL」開始

米 America Online は、音楽を合法的にストリーミング、ダウンロード、CD に焼き付けすることができる有料サービス「MusicNet on AOL」のサービス開始を発表した。

サービス開始時点では 25 万曲が用意されており、MusicNet では、これらの楽曲を 5 大メジャーレコードレーベルやメジャーインディーズレーベルからの供給を受けており、毎週新曲が追加されるとしている。

サービスプランは 3 つ。「Basic」では 20 曲のストリーミングと 20 曲のダウンロードで月額 3.95 ドル、「Standard」では無制限のストリーミングとダウンロードで月額 8.95 ドル、「Premium」では無制限のストリーミングとダウンロードのほかに 10 曲を CD に焼き付ける権利が含まれ、月額 17.95 ドルとなっている。新規加入者には Standard プランの 30 日間トライアルが提供される。

今春には、無制限のストリーミングとダウンロード、および 5 曲を CD に焼き付ける権利を月額 13.95 ドルで提供する新サービスプランを開始するほか、今年後半には好きな楽曲を CD に焼き付けることができるプランも提供される予定としている。

(2/27)

## 富士通テン、MG メモリースティック対応の AV システム発表

富士通テンは、カーAV&ナビゲーションシステム「ECLIPSE (イクリプス)」に、DVD ビデオ、5.1ch デコーダ、メモリースティックを内蔵したマルチコントロール DVD-Video / MS AV システム「E7703AVX」を発売すると発表した。

「E7703AVX」は、5.1ch デコーダを搭載した 2DIN サイズの車載 AV システム。2003 年 5 月 1 日より発売され、価格は 145,000 円。

DVD ビデオの再生に対応した AV システムで、ドルビーデジタルのほか、DTS の 5.1ch デコードに対応する。また、マジックゲート対応のメモリースティックスロットを搭載し、CD から MG メモリースティックにデジタル録音が可能となっている。

ディスプレイは 28 万画素 5.8 型ワイド TFT。デジタルカメラなどの画像のほか、再生中の DVD ビデオの画像をキャプチャして、壁紙として設定できる「Shot in Capture」機能を搭載。画像は 6 枚まで登録でき、メモリースティックへの書き出しも可能となっている。

また、「Shot in Capture」で登録した画像や、外部接続したナビゲーションの映像、DVD 映像などを同時に 2 画面表示させることができる。画像の大きさや、位置も変更可能。

(2/25)

## Gracenote、MP3 エンコードと CDDDB アクセスが可能な SDK を公開

米 Gracenote は、「Gracenote Encode Software Development Toolkit(SDK)」を、非商用の開発者向けに無償公開すると発表した。

「Gracenote Encode SDK」は、MP3 のエンコード/デコード機能を持った CDDDB の SDK (ソフトウェア開発キット)。MP3 のエンコード/デコードや mp3PRO のデコード機能に加えて、同社が提供している、楽曲のアーティスト/タイトル名などのデータベース「Gracenote CDDDB」を利用できる。

この SDK を利用することにより、エンコードを行わずに、インターネットから自動的に楽曲データを取得し、曲データを含んだ MP3 ファイルを簡単に作成できる「MP3 ジュークボックスソフト」を開発できるとしている。

Gracenote では、MP3 関連特許を有している Thomson Multimedia との特別な提携関係により、今回の無償公開を実現したという。

非商用のアプリケーションの配布について

は、Gracenote のテスト/承認を受けるまでは、100 クライアントまでの配布に限定される。また、承認後も配布ユーザーが 25 万人を超えると商用ライセンスの適用対象となる。

現在、Windows 版、UNIX 版、Macintosh 版の beta バージョンが公開されており、最終リリース版を 4 月中旬に公開する予定。

(2/25)

## スバル、「G-BOOK」を採用

トヨタ自動車と富士重工業は、トヨタが開発したネットワーク情報サービス「G-BOOK」の車載情報端末、および情報通信サービスを、2004 年以降の国内において販売されるスバル車に適用する方向で、基本的に合意し、実現に向けて具体的な検討を開始したと発表した。

主な合意の内容は

(1) トヨタと富士重工業は、両社のテレマティクスサービスのネットワーク、情報インフラなどの規格を G-BOOK をベースに共通化し、インフラを共有化する。

(2) 富士重工業は、2004 年以降販売のスバル車 (国内モデル) に、G-BOOK 対応の車載情報端末を搭載し、同サービスをお客様に提供する。

(3) トヨタは上記を実現するために必要な、情報通信サービス、インフラ、適用技術を提供する。

なお、具体的な仕様、条件、時期、ビジネスモデルなどについては、両社で今後検討していくこととしている。

(2/24)

## 東海道新幹線 (のぞみ) 停車駅で「公衆無線 LAN インターネット接続」のトライアルを開始

東海旅客鉄道 (JR 東海) は、エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME) と共同で、2003 年 4 月中旬より東海道新幹線のぞみ停車駅における「公衆無線 LAN インターネット接続」のトライアルを開始すると発表した。

提供エリアは、東京駅: 14~19 番線ホーム

11号車付近待合室、東海道新幹線南乗換改札内「カフェ・リニ」前、新大阪駅：東海道新幹線 3階新幹線ホール内（4月中旬より開始）。

新横浜駅：東海道新幹線 改札内待合室、名古屋駅：東海道新幹線 北口/南口改札内待合室、京都駅：東海道新幹線 新幹線コンコース内（7月中旬より開始）。

品川駅：東海道新幹線 待合室・ホーム等（秋より開始）。

本トライアルでは、ISP 各社から発行された、現在使っているログインID・パスワードをそのまま利用する「ISP ローミング」方式を採用。

現在、トライアルに参加表明をしているISPは、BIGLOBE、b-mobile、DION、DTI、JENS SpinNet、ODN、Panasonic hi-ho、VECCEED、WAKWAKの9社。

モニターの募集期間は2003年4月中旬より2004年3月（予定）、無料トライアル期間は2003年4月中旬より7月中旬（予定）、有料トライアル期間は2003年7月中旬より2004年3月末（予定）。

(2/24)

## PHS データ通信「b-mobile」が「HOTSPOT」に対応

日本通信は、定額・使い放題のワイヤレス通信「bモバイル・プリペイドサービス」のサービス強化の一環として、NTTコミュニケーションズ（略称：NTT Com）が提供する無線LANサービス「ホットスポット」を追加の料金支払いや手続き無しの「ネットワーク等価交換方式」により利用可能とする「無線LANローミングサービス」を2003年3月下旬より開始すると発表した。

bモバイル・ユーザーは、「無線LANローミングサービス1日利用（24時間使い放題）」につき、bモバイル・プリペイドサービス期間2日間分と相殺する「ネットワーク等価交換方式」により面倒な手続きや追加の料金支払い無しで利用可能となる。

また、無線LANローミングサービスを利用する際のユーザー名・パスワードについてはbモバイル独自のものをそのまま認証に利用できる。

日本通信は、今回のNTT Comとの提携を手始めに、各社の「公衆無線LANサービス」との提供を拡大、また今後は、マルチキャリア指向で3Gなどのブロードバンド対応も加速させるとしている。

(2/20)

## 東芝、ポータブルオーディオ向けの8bit マイクロコントローラを発表

東芝は、ポータブルCDやデジタルオーディオなどのポータブルオーディオ向け8ビットマイクロコントローラの新製品として、大容量のフラッシュメモリを内蔵し、低電圧、高速動作が可能な「TMP86FM48UF」を開発したと発表した。

新製品は、高性能の8ビットCPUコア「TLCS-870/C」を採用し、内蔵するNAND型フラッシュメモリの設計を最適化したことにより、1.8ボルトの低電圧で8メガヘルツの業界最高動作が可能。これにより、電池寿命の改善や機能の向上を図ることができる。

また、フラッシュメモリの一部は、データを都度記録できる専用領域（データメモリ）としており、電源が切れても音量設定などを保存しておくことができる。

さらに、新製品のチップを基板に実装した後もプログラムを書き換えることができる機能を内蔵しているため、出荷直前に海外向けに表示言語を変えるなどの対応が可能となっている。

サンプル出荷は2003年3月から行い、5月から月産10万個規模で量産を開始する予定。サンプル価格は800円。

(2/19)

## 東芝とハギワラシスコム、NANDフラッシュ事業で合弁会社設立

東芝とハギワラシスコムは、フラッシュディスク及び半導体カード事業を行う合弁会社を設立することで、基本合意したと発表した。

新会社は、東芝が製造するNAND型フラッシュメモリをベースとした応用製品の企画・販売促進を行い、まずは産業用途向けに事業を展開する。

新会社への出資比率は、東芝が50%、ハギワラが50%で、2003年4月末日までに設立の予定。社名は未定。

当面、ハードディスクドライブのように使えるNAND型フラッシュディスクドライブ（NFD）や、機器に直接組み込んで使うドライブオンモジュール（DOM）などNAND型フラッシュメモリの特性を活かした応用製品の企画・販売促進を中心とした事業を行う。

また、将来的には、フラッシュメモリとその他の機能を複合させた新たなカード型製品を加えることも検討するとしている。

(2/19)

## JR 東日本、駅での公衆無線LAN実験を再開

東日本旅客鉄道（JR 東日本）と日本テレコムは、2002年2月から11月まで行われていた「無線による、駅でのインターネット接続実験」を2月20日10時より再開すると発表した。

今回の実験では、他の無線LAN事業者とのローミング、実験エリアの拡大が図られる。

実験エリアはこれまでの東京駅、新宿駅、渋谷駅、上野駅に加え、東京駅、新宿駅、上野駅のサービスエリアを拡大するほか、池袋駅、八王子駅、吉祥寺駅、盛岡駅、八戸駅を新規エリアとして追加する。

ローミングに対応するのはNTT Comの「HOTSPOT」、NTT-BPの「無線LAN倶楽部」、NTT-MEの「ネオモバイル」、NTTドコモの「Mzone」で、このうち1サービスのIDやパスワードでそのままJR 東日本のサービスを利用できる。

ローミングの開始は今春予定となっているが、ネオモバイルはJR 東日本とのローミングをすでに実施している。

実験期間は2月20日から12月19日まで。申し込みは2月19日17時より受け付ける。

プロバイダーは@nifty、BIGLOBE、DION、DTI、JENS SpinNet、OCN、ODN、Panasonic ho-ho、ReSET、JPの9社に対応。事前登録なく1時間サービスを利用できる「一時利用接続サービス」も、東京駅および上野駅で再開する。  
(2/18)

## 1月末のDSL加入者数は610万強

総務省から2003年1月末時点のDSL加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は6,119,883で、これは前月末の8.4%増。増加率は前月から1.9%のマイナス。

内訳を見るとNTT東西のフレッツADSLでの加入者が2,257,514。他事業者経由のDSL加入者が残りの3,862,369で、NTT東西のフレッツADSLのシェアは36.9%と前月から0.9%のマイナス。  
(2/12)

## 有線ブロード、取り付け数が40,000回線を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業（FTTHブロードバンドインターネットサービス）について、2003年1月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が69,910件、回線が開通している取り付け数が41,501件となった。

これらの数字を2002年12月末時点のもの比べると、契約者数で約6,500件、取り付け数で3,700件を越える増加となっている。  
(2/11)

## IFPI、ネット音楽配信向けIDシステムを発表

国際レコード産業連盟（IFPI）は、インターネットを使ったデジタル音楽配信向けのIDシステム「Global Release Identifier」（GRid）を発表した。

このGRidは、現在主に米国で発売されて

いる音楽CDの特定に使われているUPC（Universal Product Code）バーコードの電子版。

GRidでは、UPCよりもナンバリング許容量を大幅に拡大、アルバムやシングルへの識別はもちろんのこと、配信元や権利状況なども含まれる。採用企業は3000万点以上の作品にコードを割り当てられる。

どの音楽が作成／ライセンス／配信されているかを特定するシステムとして、世界のレコード業界の標準になるものとしている。

ただし、GRidはUPCやISRC（International Standard Recording Code）などの既存のID体系を置き換えるものではなく、それらのシステムと共存できるよう設計されている。

IFPIはこのシステムの管理にあたり、GRidコード発行希望者はGRid登録局に対して年間150英ポンドを支払う必要がある。  
(2/10)

## モトローラ、次世代携帯オーディオ装置の基準設計を提供

米モトローラ半導体セクターは、オーディオコントロール「SCF5249」を使用したポータブルオーディオ向けのリファレンスデザイン（基準設計）を提供すると発表した。

このリファレンスデザインは、中国のデザインハウス、ArrowOptekとの共同開発によるもので、柔軟で迅速な設計と、生産コストの低減を提供できるという。

中心となるSCF5249は、ワンチップにDSPの音楽デコーディング機能とマイクロコントローラのシステム管理機能を搭載した。CD-ROM、フラッシュメモリ、HDDなどに対応し、1万個ロット時で10ドル未満。すでに一部の台湾、韓国メーカーが採用を表明しており、早ければ今夏には製品化されるという。

このリファレンスデザインを利用して設計したシステムは、MP3/WMA/AACなどさまざまな音楽フォーマットに標準で対応することが可能。

メーカーは即時生産が可能で、リファレンスデザインを適用した製品を2003年度末までに発売できるとしている。

(2/7)

## ソニー、アイワブランド初の“Net MD”対応商品など発表

ソニーマーケティングは、アイワブランド商品として初めて“Net MD”規格に準拠するNet MDデスクトップオーディオ『ADN-1』、ポータブルNet MD『AM-NX1』他、新アイワロゴを冠した新商品12機種を順次発売すると発表した。

『ADN-1』は、Net MDをサポートしたデスクトップオーディオシステム。Net MD対応のMDレコーダ、CD、最大出力2W×2chのアンプを内蔵した本体、スピーカーなどで構成され、MD部はMDLPにも対応。CDからMDへの4倍速録音も行なえる。Net MD用のソフトは「SonicStage Ver.1.5」が付属する。

スピーカーは、前面上部にアクティブスピーカー、前面下部にパッシブスピーカーを配置したパッシブラジエータ方式。小型ながら豊かな低音を再生するという。また、操作ボタンにはタッチセンサーを採用し、MD部やCD部を格納する正面カバーは左右方向にスライドする。

本体部の外形寸法は79.2×192×221mm（幅×奥行き×高さ）、重量は1.3kg。スピーカー部のサイズは100.5×192×221mm（同、1本）、2.4kg（2本）となっている。外部出力端子として、ヘッドフォン端子、アナログ出力を装備。専用リモコンが付属する。

発売日は3月10日で価格はオープンブレイス。

『AM-NX1』は、Net MD対応ポータブルMDレコーダ。パソコンから最大約64倍速の高速転送が行なえる。ATRAC用のDSPには、フルサイズMDレコーダ「MDS-JE780」などに搭載する「TYPE-S」を採用。MDLPモード再生時でも高音質で楽しめるとしている。



耐振機能として新たに「E・A・S・S GP」を搭載。焦点合わせ、ピックアップのズレ戻し、音楽データの高速読み込みの3動作を、振動を受ける毎に0.3秒で行なう。これにより、連続した振動でも音飛びの心配はほとんどないとしている。

電源にはニッケル水素充電電池を使用し、持続時間は標準モードで約31時間、LP2モードで約38時間、LP4モードで約45時間。アルカリ単3電池1本との併用も可能で、その場合は最大約114時間(LP4モード)の連続使用が可能。充電時間は約3.5時間となっている。

外形寸法は80.3×17.9×74.2mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約85g(本体のみ)。リモコンは液晶バックライト付きでカナ漢字表示にも対応する。

入力端子はUSBのみ。付属ソフトは「SonicStage Ver.1.5」。

発売日は3月20日で価格はオープンプライス。

(2/6)

## 「Yahoo! BB」会員、200万人突破

ソフトバンクBBは、ヤフーと共同で提供しているブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」の会員数が、速報値で200万人を突破したと発表した。

「Yahoo! BB」は2001年9月に商用サービスを開始し、2002年9月下旬にサービス開始以降12ヶ月間で会員数100万人を突破。

今回、100万人の突破から僅か4ヶ月間、商用サービス開始から16ヶ月間で200万人を突破したことになる。

(2/3)

EMD Magazine 第30号

発行 2003年4月8日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース